

# ボラえもん通信

平成20年12月発行

冬到来です！！あっという間に12月...、早いですね。ボラえもん通信も8ヶ月ぶりとなってしまいました。H20年度の赤城青少年交流の家もいろいろな企画事業が行われ、参加したボランティアの方々から報告&感想が届いておりますので、ご紹介します！参加した人も惜しくも参加できなかった人も一緒に共有しましょう。

まずはボランティアスタートアップセミナー（通称ボラセミ）にボラとして参加した「笑顔がステキ」やぎちゃんからの感想です。

こんにちは。やぎちゃんです

ボラセミからもう1ヶ月が経つんですね。ボラセミに参加者として参加したのは3年前、スタッフをしたのは今回が初めてでした。「どんな人がくるんだろう。」と不安半分、楽しみ半分のスタートでした。開講式のボラあいさつのときから続いた「かわいい〜。」の声は、「ええー。うそだー。」って思いつつもすごく嬉しかったです。実習や講義も参加者のみんなと楽しく活動することができました。みんなが笑顔になってくれたのが嬉しかったです。1泊2日の日程は短くて、もっともっとみんなと話をしたり、一緒に活動してみたかったです。また、みんなに会えたらいいな

ボラセミをふりかえり、反省するところもたくさんありました。「次はこうしたい。」「こんなこともできるかな。」って今から色々考えています。「次は...」があるから、また赤城に来てみんなに会いに来たくなるんだろうな。次は...世界一美味しいカレー作ろうね

やぎちゃんは赤城が大好きです。みんなもきっと赤城が好きになった...かな。みんなありがとでした またねー

次は同じくボラとして参加の「赤城のムードメーカー」やっさんからの感想です。

ボラセミにボラとして参加した方に感想...去年のボラセミと比べて参加者の人達の笑顔がたくさん見られてよかったよ。来年もボラメインでやっていけたら良いと思います。

そして、「赤い情熱」パッションからの乾燥です。(笑)

高校生がメインのボランティアセミナーで、最近の高校生はどんな雰囲気を出して  
くるのか期待と期待でいっぱい挑んだのですが、最近の高校生も自分たちが高校の頃醸  
し出していた雰囲気と似ているところもあり、共感できる場所があって嬉しかったです。

今回のボラセミは(といってもお初なのですが...),自分の担当で力不足が多々あり、い  
っぱいいっぱいで他のボラさんには迷惑をかけてしまったというところが一番悔やまれる  
ところです。もっと上昇していかないと!(いきなり個人の完走からはないですね)。

私パッションが一番感じたことは、赤城ボラの一生懸命な姿や楽しんでる姿を参加者に  
みてもらったり、感じ取ってもらったりしてくれたのではないかなと思いました。高校生  
がメインだけあって、ところどころ抜けてしまう感じをうけたものの、歌を歌ったときな  
どを中心として全体が一体となれたところもあったのは、効果ありだったのでは...

個人的には、今回の企画にあまりかかわることができず、だっちを中心として指揮して  
くれたボラさんのやりやすい環境を作れなかったところが個人としても、全体としても反  
省点だったのではないかと思いました。“みんなで気軽に助け合える空間”が、teamのよい  
ところでもあると思うので、横のつながりの恋teamにあこがれまっする。

なんか、まとまらずというかまとめずというかよろしくないというかもっとしっかりか  
けといかなんというところなののですが、最後の感想としては、「赤城で仲間とと  
もに過ごす時間は、やっぱり楽しいな」です。この赤城の濃厚さ・暑苦しさを好んでき  
てくれる人が増え、そういう想いがまわりに伝染するとちょっぴりhappyになれますよね。

こちらは、今年のボラセミに参加して、赤ボラの仲間となった「元気印(^\_^)」まいちゃ  
んから「ユースパートナーキャンプ」の報告です。

8月30~31日に「ユースパートナーキャンプ~事前研修会~」、9月13~15日に「ユ  
ースパートナーキャンプ~メインキャンプ~」が行われました。

今年は、特別支援教育を必要とする子どもとその家族11組とボランティア19名が出  
会い、遊びや工作、食事作りやキャンプファイヤー、散歩などキャンプ体験を楽しみました。  
ボランティアは、関根先生や石原さんにアドバイスをいただきながら、子どもたちや家族  
と楽しくキャンプができるよう、支援の計画をし、いざ実践!子どもたちの課題、家族の  
課題に触れながらも、ボランティア自身もかわり方を見つめ直し、支援の課題が見つ  
かっていたかなって思います。

今回のキャンプテーマは「虹」!「みんなの笑顔は虹色笑顔 = “みんな違う色をも  
って、それでいい。それがいい!みんなの色が集まれば、またこれこんなに素敵”」ボラ  
ンティア同志のつながり、家族や子どもたちとのつながりを大切にして、来年度につな  
げていけたらと思います。

来年どんな形になるかわからないけど、やっちゃいましょ 笑

今年6月「赤城山トレイルランニング」にボラとして参加した「心のオアシス」モッチーからの報告です。

こんにちは。モッチーです！私は6月8日におこなわれた、赤城山トレイルランニングに、ボランティアとして参加しました。まず、朝5時30分頃に、受付で安全ピン（1個100円）の販売を担当させていただきました。午前8時に、選手の方々が一斉スタートをした後、ゴールの準備と同時に、参加賞の準備もしました。私は、参加賞担当だったので、バナナを半分に切ったり、「風ライン・ふれあいの湯・物産館」の、1袋3個入りのキュウリと、パンフレット1枚を700セット袋詰をやりました。また、ゴールしてきた選手に、参加賞を渡す大役もやらせていただきました。私が『お疲れ様でした。』と言いながら、選手に参加賞を渡すと、大半の選手の方々が、『ありがとうございます。』と言って下さいました。私は、『走ってきて疲れているに、すばらしいな。』と思いました。

私は、ゴール閉鎖後、都合で帰宅してしまったので、その後のことはわかりませんが、また来年も、ボランティアとして参加したいと思います。

ここからは私だっちが12月6・7日に行われた「ボランティアのつどい in あかぎ」に参加した感想を述べたいと思います。

土曜日の晩に懇親会で久々にあった仲間と職員さんとおいしい御飯を食べ、歌い、語り明かしました。会場がボランティアB棟ということもあり、テンションはUP！UP！「最近はどう？」なんて話をしながら、いつもの赤ボラの雰囲気...(^\_^)これからの活動に向けてのお話も盛り上がりました。今回のつどいが久々にボラの集まる機会となり、「最近ボラ企画やってないな～、やりたいね！」という話もあがり、私自身とても刺激を受けました。いっぱい語った後は、遅めの就寝。お鍋も茶碗蒸しもおいしかったな～。

日曜日...空は突き抜けるような青でした。鍋割山も鮮明に見えました。そんな天候にも恵まれた中、午前中は木登り体験をしました。腰にハーネスをつけ、ヘルメットを装着、万全な装備でしたが、高いところに登るということで緊張していました。しかし、実際に登ってみると...気持ちいい～。私も「あの木のまたまで！」と目標を持ち、ゆっくり登っていきました。木の上に立ったときのあの感動！！忘れません。目標を持って頑張れば、苦手だって思っていたことも好きになれるんだと改めて実感した時間でした。木登り後は増田先生のすすめで、お世話になった木の足元に木の葉をかけて感謝。ぬでが講師をしてくださった増田先生のほめ方がうれしかったといていたのも印象に残っています。増田先生！本当にありがとうございました。

午後は施設整備で、センター棟の屋根裏部屋の整理をしました。すっごくきれいになりましたよ～。ユースパートナーキャンプの備品もしっかりまとめられました。屋根裏の整

理をしながら、赤ボラを実感！こういう機会を増やしていこうと思いました。

今回のつどいでは、私自身いろいろな収穫がありました。久々にみんなに会えたこと、木の上を気持ちいいと思えたこと、これから赤ボラでやっていきたいことを話せたことなどなど、やはりボランティアっていいですね～。赤ボラのつながりをいろいろな人に広めていけたらいいと思いました。また今後のボラの課題というのも見えてきたと思います。私たちがボランティアとしてこれから何をしていくべきか？一つずつ解決していきましょう。最後に、今回棚谷さんとぬでが中心になってこの会を開いてくれたこと、本当に感謝しています。本当にありがとうございました。

#### 編集後記

今回は冬特大号！！ということでたくさんのボラが感想を寄せてくれました。今年も残すところ 1 ヶ月をきってしまいました。来年はもっとボラが集まれる機会を増やし、スキルアップや自分の特技発見につながる企画ができたかなと思います。2009 年も赤ボラはりきって行きましょう！！ではまた、ボラえもん通信 or 交流の家で会いましょう。

今回の担当はだっちでした。感想、不明な点がありましたら [pajama-doumei@ezweb.ne.jp](mailto:pajama-doumei@ezweb.ne.jp) までご連絡ください。

Special Thanks...やぎちゃん、やっさん、パッション、まいちゃん、モッチー  
本当にありがとう